



私たちは JICA つくばで一日研修に参加しました。

まず、民族衣装を着ました。世界の伝統衣装はチマチヨゴリやチャイナドレスくらいしか知りませんでしたが、JICA つくばには今まで見たことのない可愛い衣装がたくさんありました。東南アジアやアフリカなどの地域ごとに分かれてかけてあり、アフリカ地域は生地が薄く、すぐ着られて楽なものが多かったです。その地域の気候帯や生活様式によって布地の厚さや着やすさが違うことを知りました。

次に主食についてです。ケニアではトウモロコシが主食で、それも粒（コーン）でなく、トウモロコシを粉砕した粉を加工して食べているということにはとても驚かされました。私たちが普段、サラダに入れて小腹が空いた時に食べているものが主食だという違いを身近に感じました。

最後に衛生面です。ケニアでは、牛などの肉をさばいて、そのままぶら下げて屋台で売っているという話を JICA の方に聞きました。とても不衛生だし、危険だと思います。それを買って子供が口にした場合、食べる時には、火を通すかもしれないけど菌や寄生虫は殺しきれず病気になってしまう可能性が高いと思いました。しかし、ケニアでは病気の治療してくれる人が少ないし、仮に治療してくれる人がいたとしても、お金がないために治療を受けられる人は、ほとんどいない事も知りました。

私たちは、日本という先進国で何事の危険もなく 15 歳まで生活してきました。ですが、開発途上国では、水を飲んだだけで、料理を食べただけで死んでしまう可能性が高いのです。しかし、食べなかったら生きていけません。普段お菓子を買う数百円での募金…、出しっぱなしにしている水を止める…、誰もいない部屋の電気を消す… 簡単なことで、助かる命もあります。

JICA での研修を通して、当たり前は当たり前でなく、何万人もの人たちの努力、仕事によって成り立っていることに感謝して、生活していこうと思いました。

石津 桃華